



# 法人ボランティア 養成セミナー



期 日 令和6年5月25日(土)~26(日)

参加者 37名 (高校生・大学生・社会人)

講 師 新井健太郎氏(高山市社会福祉協議会)  
国立乗鞍青少年交流の家  
次長・企画指導専門職

青少年教育や青少年教育施設がもつ役割や現状について学びました。また、先輩ボランティアの話から、目指すボランティア像について考えました。

「安全管理」では、実技も入れながら、予防的観点を含め安全に活動するための留意点を学びました。



「ボランティア活動の技術」では、ウォークラリーを行い、体験活動をサポートする際の留意点を学びました。

午後は、高山市若者等活動事務所「村半」を会場として、高山市社会福祉協議会の方から、ボランティア活動の意義について講義をしていただきました。



国立乗鞍青少年交流の家では5月25日（土）～26日（日）に、主催事業をサポートする「法人ボランティア」養成セミナーを開催した。

当施設では、主催事業において職員とともに事業を運営し、参加者の活動のサポートや安全管理を行う「法人ボランティア」の協力を募っている。これまで県内外の多くの高校生、大学生が法人ボランティアとして事業に参加し、参加者とともに乗鞍での自然体験活動を行ってきた。法人ボランティアとして活動するためには決められたカリキュラムを受講する必要がある、この度開催した養成セミナーには37名の高校生や大学生が参加し、ボランティア活動をする上で必要な知識や技術を学んだ。「安全管理」の單元では、予防的観点を踏まえて安全に活動するための留意点を学んだ。「ボランティア活動の技術」の單元ではカレーライスの野外炊事を体験し、安全に実施するための注意点や手法を学びながら、「仲間と協力したからこそとてもおいしい」と「早く子供たちに体験させたい」と意気込んでいた。